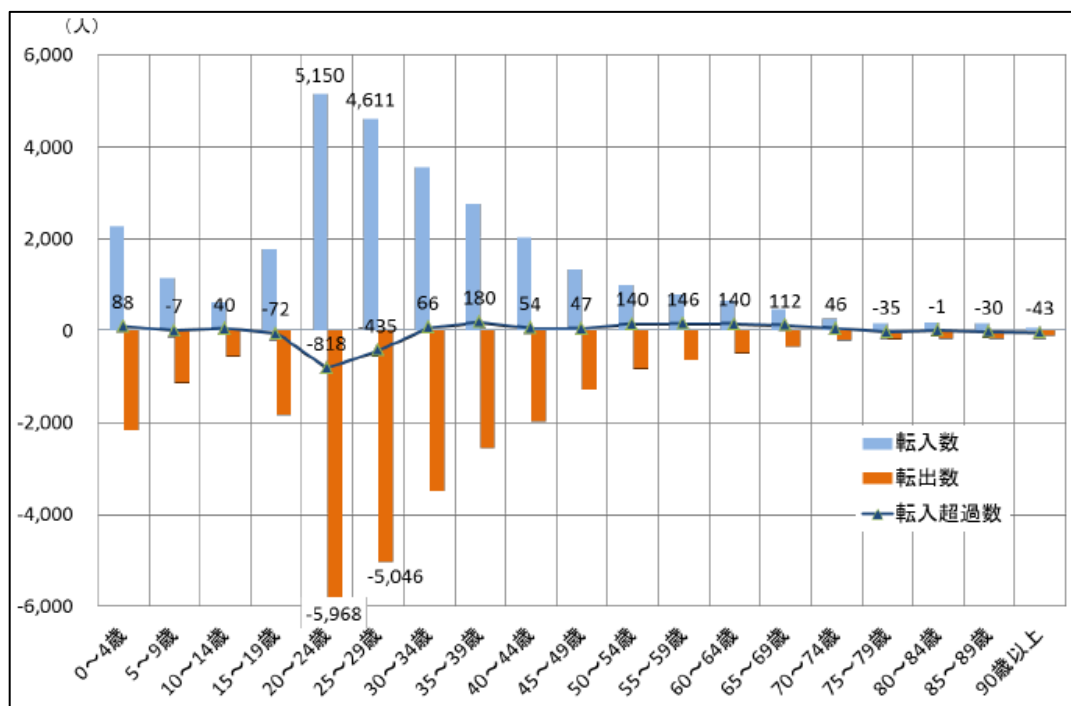


資料編

資料1 参考データ（Ⅱ 中山間地域の現状と課題）

■本編 P.5 3 集落機能の低下による担い手不足の深刻化

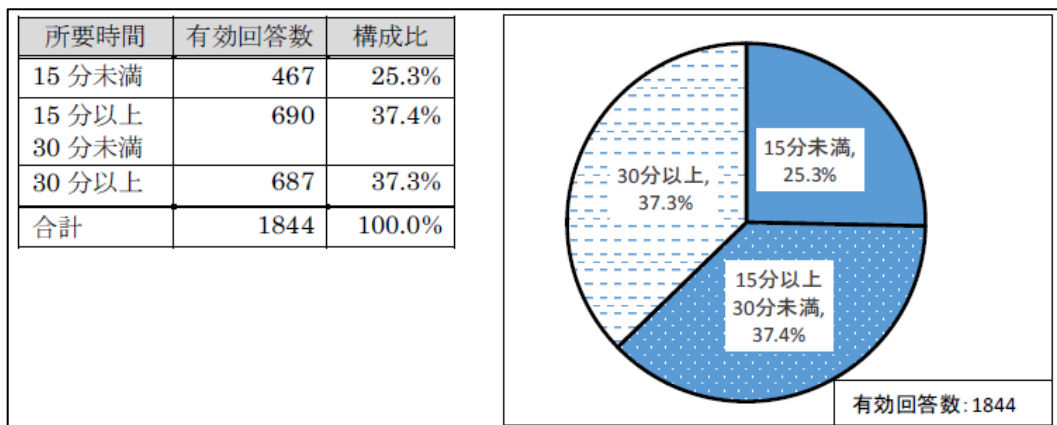
岡山県の世代別の転入・転出状況（2014年）



資料：岡山県人口ビジョン（平成27年10月）

■本編 P.5 4 生活環境の状況

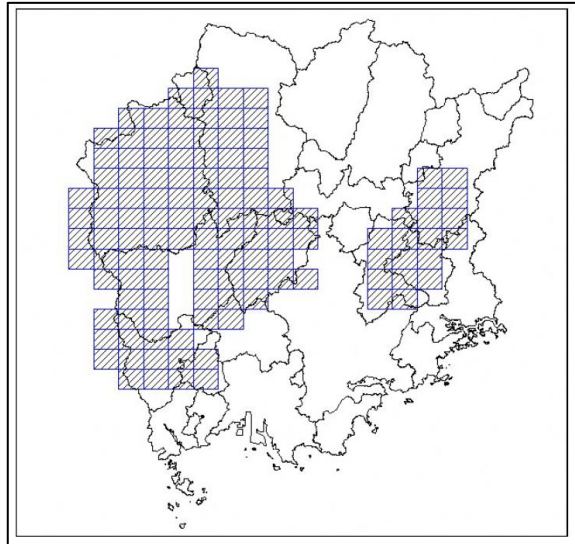
買い物に行く際の所要時間



資料：中山間地域の生活状況等に関するアンケート調査（令和2年度実施）

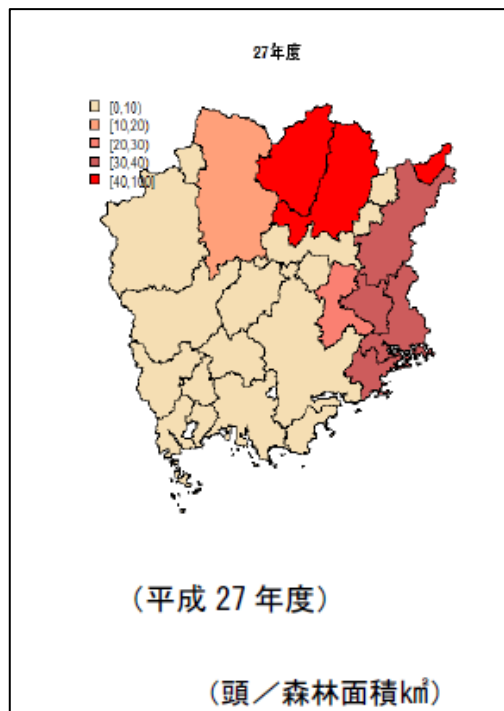
ニホンザルの生息状況 平成 29 (2017) 年度群れ推定分布図 5 km メッシュ : 119 メッシュ

(岡山県, 2016、2017)



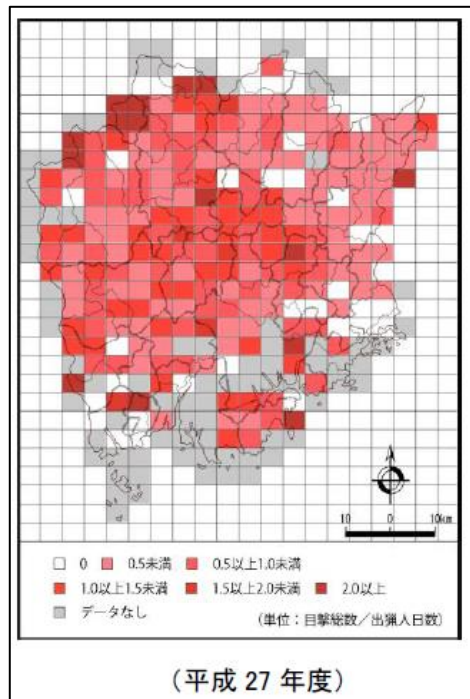
資料：第 1 期ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画（平成 31 年 4 月 岡山県）

シカ生息密度状況図



資料：ニホンジカ管理計画書（平成 29 年 4 月 岡山県）

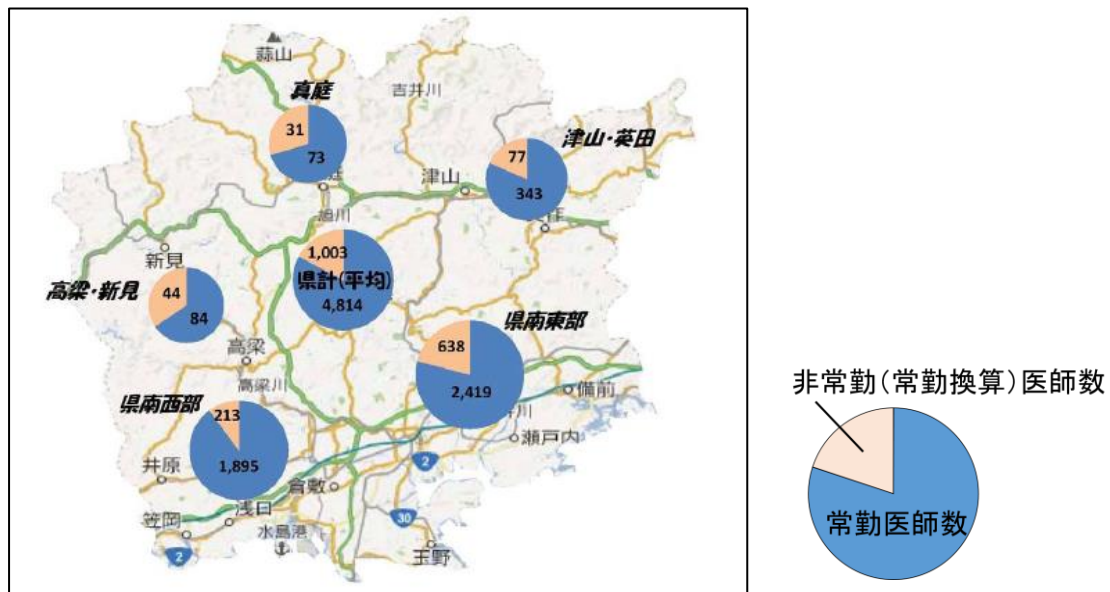
イノシシの生息状況 (5 km×5 kmメッシュ図)



資料：イノシシ管理計画書 (平成 29 年 4 月 岡山県)

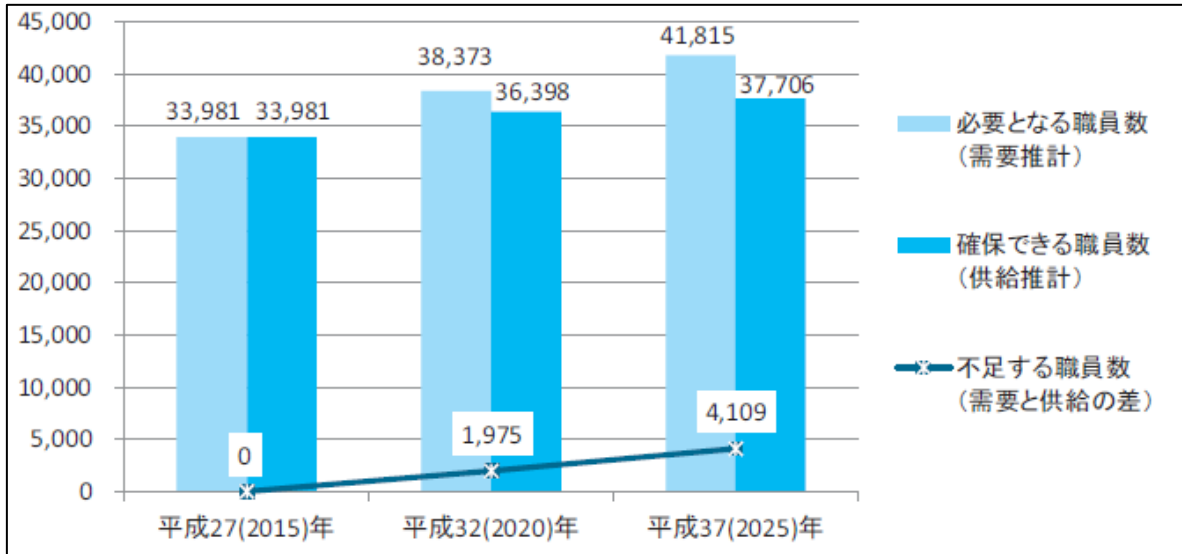
■本編 P.5 5 保健・医療・福祉サービスの状況

二次保健医療圏ごとの常勤換算医師数 (人口 10 万対)



資料：岡山県における医師の偏在状況 (平成 25 年 2 月 岡山県地域医療支援センター)

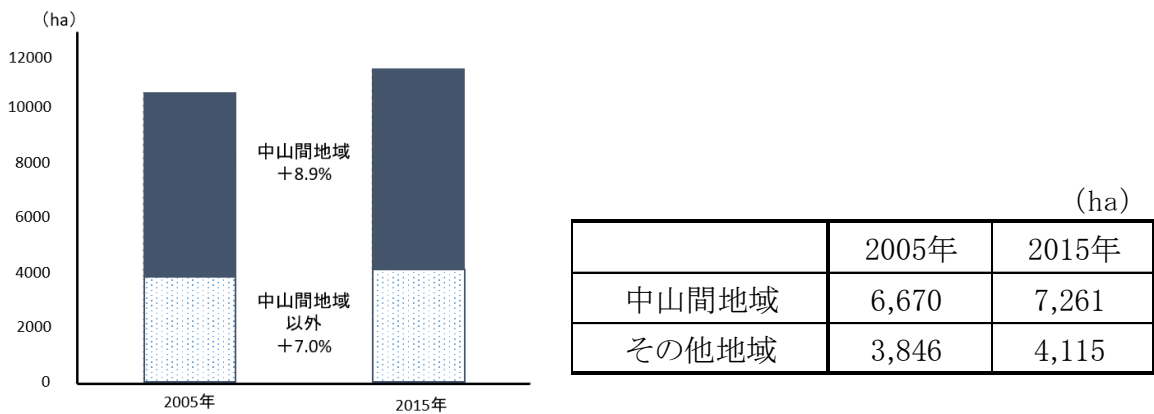
岡山県における介護職員の需給推計（単位：人）



資料：第7期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（平成30年3月 岡山県）

■本編 P.5 6 農林水産業の状況

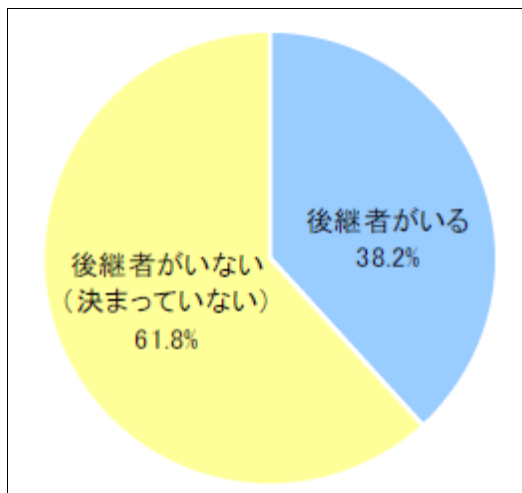
耕作放棄地面積



資料：農林業センサス（2005年、2015年）を基に作成

■本編 P.5 7 商工業等の状況

岡山県の後継者不在率



資料：岡山県 後継者問題に関する企業の実態調査（2019年 帝国データバンク）

資料2 基本方針改訂にあたって参考とした有識者の考え方

■人材育成の必要性

総務省過疎問題懇談会（R元. 11. 26）

資料3 「過疎地域の存続と内発的発展に資する人材の育成」から抜粋

Ⅱ－2 過疎地域に必要な人材

（基本認識）

西欧の文明国家とは全く異なる素晴らしい歴史、伝統、文化、社会構造とそれらに育まれた美しい自然景観や価値ある特産品を持つ過疎地域

～それを生かせる人材が必要

（（参考Ⅲ）日本の農村文明が世界を救う）

○かつては、「よそもの」「ばかもの」「わかもの」が必要といわれたが、今では以下のような人材が必要

○オープンマインドな横串人材

○ITリテラシーに長けた人材

（国内のみならず世界に向けた情報受発信力のある人材）

5

○経営、マーケティング、デザインができる人材

○潜在的価値を現実の金銭的価値に換えることができる人材

○地域資源をもとにあるものを生かして仕事を作り出せる人材

○女性の参画が重要

（横のつながりをつくるのが得意）

○外部人材導入の必要性

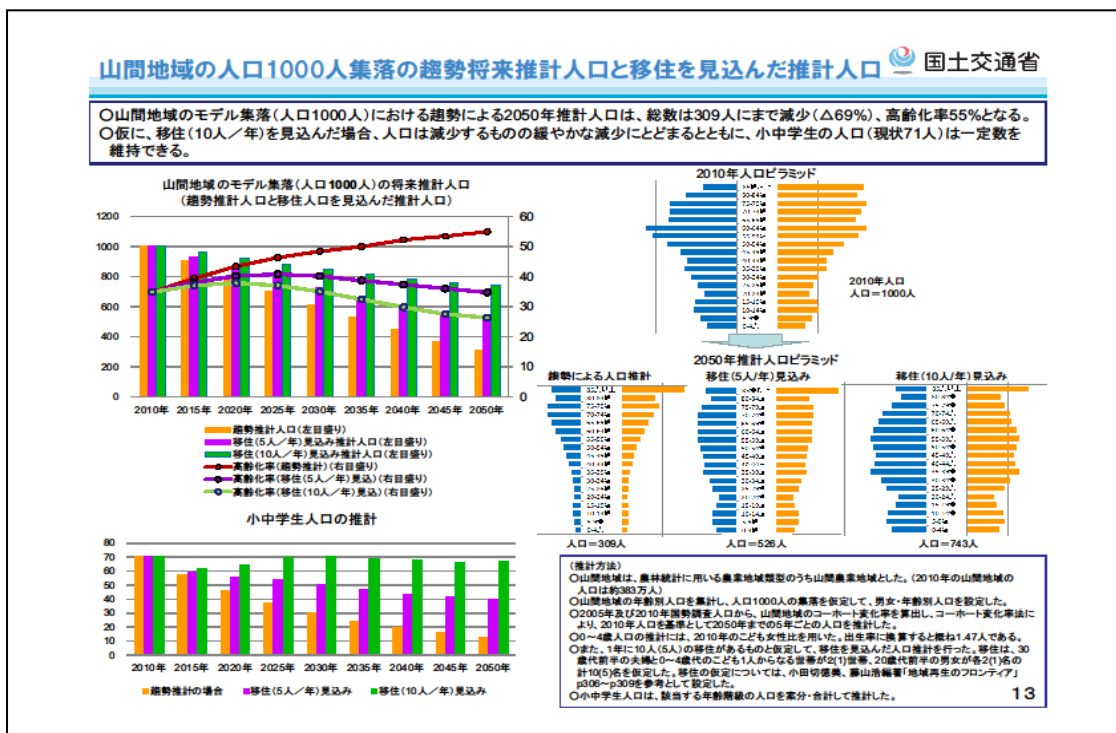
（ネットワーク拡大とイノベーションを起こすため）

（関係人口の獲得にも寄与）

6

■人口減少への対応

国土交通省「国土のグランドデザイン2050 参考資料」から抜粋



総務省過疎問題懇談会 (R元. 11. 26)

資料3「過疎地域の存続と内発的発展に資する人材の育成」から抜粋

地域経済循環分析の必要性

一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

人口の1%ビジョンで勝負する!

【参考】田園回帰1%戦略
～地元へ人と仕事を取り戻す～ 藤山 浩 著

毎年、地域人口の**1%**分を新たに取り戻していけば、**地域人口は安定化**

↓

取り戻した人口**1%**分、所得も**1%**分増やさなければならない

➡ 人口の維持増加には**地域経済の基盤強化**が必要

↓

そのためにも、**地域経済の循環分析**が必要

34

4. 「関係人口」と政策

■主体別の課題

①〈国〉

- ・関係人口の量的・質的把握(特に世代別)
- ・関係人口を踏まえた新たな地方財政(交付税等)

②〈国・自治体〉受け皿の整備＝目的は関係の持続化

- ・関係人口制度の構築(「ふるさと住民」の仕組み)
- ・「関わる場」づくり支援(「関係人口割引」?)

⇒若者からは安い交通費、宿泊費の要請

- ・「関わりの階段」の整備

⇒「次の段階」へのステップアップ支援(事業総合化)

③〈民間〉関係人口を掘り起こし、関わり実現を支援する

⇒「つながりサポート」支援の実施

④〈地域〉「関わり価値」のさらなる磨き上げ

⇒面白い「人」、「場所」、「場面」づくり

13

新しい地域像

■にぎやかな過疎＝多様なプレイヤーの交錯

①(地域づくりに取り組む)地域住民

②(地域で「しごと」をつくる)移住者

③(「何か関われないか」と動く)関係人口

④(SDGsで機関投資家が気になる)企業

⑤NPO・大学……

■「にぎやかな過疎」の特徴

①人口減だが、地域がガヤガヤ

②人が人を呼ぶ、しごとがしごとを創る

③多様な人々の「ごちゃまぜ」(重要な「場」)

④都市・農山漁村共生社会形成の拠点

※農山村のみでない、多くの地域のあるべき姿ではないか

28

資料3 重点分野ごとの取組事例

多様な主体が支え合う仕組みづくり

重点分野1 集落機能の維持・確保

小学校区、大字等広域的に地域運営を行うため、推進組織を中心に地域が主体となり、高齢者生活支援、交流活動等の地域づくりに取り組んでいます。



<高梁市宇治町>

宇治地域まちづくり推進委員会の活動



<新見市哲多町大田>

大田地区ふるさと振興協議会の活動

重点分野2 地域を支える人材の創出

地域づくりを支える人材の確保につながるよう、移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大、都市住民との交流促進等に取り組んでいます。



<和気町>

首都圏での移住相談会の実施



<井原市池井>

都市住民との農業体験交流事業

安心して暮らせる生活基盤づくり

重点分野1 生活環境の整備

多様な主体と連携して、地域で安心して暮らし続けることができるよう生活サービスの維持に取り組んでいます。



<津山市阿波地域>

ガソリンスタンド併設の旧 JA 事務所を「あば商店」として運営



<備前市東鶴山地区>

小型電気自動車による移手段の確保

重点分野2 保健・医療・福祉サービスの充実

身近な場所で高齢者が集う「通いの場」の拡充を図るなど、高齢者の生きがいつくりや社会参加活動を促進しています。



<久米南町下弓削上之町>

空き家を改修し、活動拠点「寄っ亭」を整備し、地域住民の介護予防事業を実施



<吉備中央町旧新山小学校区>

高齢者の集いの場として、「はつらつ元気体操」や昼食提供を実施

暮らしを支える地域経済の振興

重点分野1 農林水産業の振興

地域資源等を活用し、農林水産物の消費拡大や生産者と消費者との交流に取り組むとともに、農作物等の鳥獣被害防止対策にも取り組んでいます。



＜笠岡市白石島＞
白石・島づくり委員会が地域住民の協力を得てイノシシを捕獲・駆除



＜新見市大佐大井野地区＞
特産品「ヒメノモチ」の販売等を通じた都市住民との交流を実施

重点分野2 商工業等の振興

身近な場所で高齢者が集う「通いの場」の拡充を図るなど、高齢者の生きがいをづくりや社会参加活動を促進しています。



＜矢掛町山ノ上集落＞
矢掛町ブランド「山ノ上ほし柿」等を中心とした6次産業化の推進



＜西栗倉村大茅地区＞
「おのがや芝桜公園」を開催し、観光誘客を推進

「おかやま元気！集落」に登録された地域の詳細はホームページで確認いただけます。
URL : <http://www.oka-chu.com/>